

びかりん住職



皆さん。またお会いしましたね。本光寺にいる「木魚のぼっくん」です。まだまだ知らないことばかりなので、今回も、ご住職様にいろいろお聞きしながら勉強していきたいと思っています。では、ご住職様をお呼びします。ご住職様ああああ



木魚のぼっくん

こんにちは。今回もぼっくんとともに勉強していきたいと思います。さて、もうすぐ「お盆」だね。ぼっくんは「お盆」の時期を知っているかな？

地域によっていろいろあることは知っていますが、8月13日から16日(または15日)までではないでしょうか？



そうだね。一般的にその時期を「お盆」と言いますが、実は、8月1日から「お盆」は始まっているんだよ。ご先祖様が、8月1日(または7月1日)から、自分の家を目指して、あの世から歩いて(または馬に乗って)向かわれてくるんだよ。そして13日にご先祖様は家に着いて、16日にまたあの世にお帰りになれるんだよ。だから、一般的に言われている「お盆」は、ご先祖様が家(この世)で過ごされる時間なのかもしれないね。(諸説あり)



そうなんだ～。「お盆」だけでもまだまだ知らないことが多いです。前に、「お盆」の名前は「盂蘭盆会(うらぼんえ)」からきていると教えていただきましたが、他に何か言い伝えなどがあったら教えてください。



「盂蘭盆会」の由来に言い伝えがあるんだよ。「お釈迦様の弟子の一人の目連さんが、亡くなった母親を探していると、餓鬼道に落ちているのを見つけました。水や食べ物を渡そうとしても、全て口に入る前に炎になってしまいました。困った目連さんがお釈迦様に相談すると「修行僧(比丘)の修行の最後の日に、修行僧全員に食べ物を施せば、お母さんにもその食べ物が手に入りますよ」とおっしゃられ、それを実行しました。修行僧は喜び、母親も餓鬼道から救われましたという話があるよ。「お盆」にお供えをするのは、このことからきているんだね。



お釈迦様の教えは私たちにいろいろ気付きを与えてくださるのですね。ところで、ご住職様にお聞きしたいことがあります。ぼくの知り合いの方が残念ながら6月末にお亡くなりになりました。今回の「お盆」は新盆で特別なことをしなくてはならないのでしょうか？



まず、新盆に関して説明します。新盆はお亡くなりになって49日法要が終わった最初の「お盆」の事を言います。亡くなった方が49日法要を迎える前は、まだあの世に向かわれていないので、通常のご先祖様のための「お盆」です(来年が新盆になります)。「お盆」とか新盆だから特別なことをするのではなく、故人やご先祖様をしのび、感謝の気持ちを捧げることが大切だよ。「お盆」と言う行事として行うのではなく、私たちのご先祖様がいないければ今の私たちは存在しないし、先人に対する感謝の気持ちを表現するものでなければいけないね。



日々、ご先祖様に感謝の気持ちを持つという事が大切なのですね。



その通り。私もまだまだ修行の身なので、これからも皆さんとともに精進していこうと思います。本光寺をこれからもよろしく願いいたします。合掌

は
ひ
ふ
へ

本光寺

ほんこうじ

第23号


令和3年8月発行

西暦	2021
仏暦	2564
祖暦	799
皇暦	2681

尾藤住職より
今年も「お盆」の季節になりました。新型コロナウイルスは、私達の生活習慣の見直しを強いる程の影響を与えました。しかし、先祖を敬う気持ちは、いつの時代も変わらないものです。本光寺での「お盆」行事は、コロナ対策をしっかりとしたうえで、通常通りに実行させていただきます。ご理解の程、よろしくお願いいたします

記者より 「ご住職にききたい」のコーナー初めての電話にての取材です。

「ご住職にききたい」もコロナの影響でお伺いすることもままならないため、今回初めて電話にて取材させていただきました。直接お会いするのは、また違ったインタビューになったのかもしれませんが、ただ、ご住職の考え方や熱意は電話でも伝わってきました。ご住職の事をもっと知りたくなった取材でした。



記者「以下 記」こんにちは。今回は、毎日ご住職が行っていらっしゃるテレ詣での「朝参り会」のお話しと「お盆」のお話しを中心にお聞きしていきたいと思います。「新型コロナウイルス」がまだ収まらない時期なので、電話にて取材させていただきます。

さて、まずは「朝参り会」についてお聞きします。私も毎朝参拝（参加）していますが、そもそもご住職が「朝参り会」を始められるきっかけは、どのようなことだったのでしょうか？

住職「以下 住」こんにちは。私は常日頃から、皆様にお伝えしていないことが多々あると思っております。宗教者としての立場からの発信、本光寺住職としての発信、一人の人間としての発信などさまざまな立場から、皆様にもっと本光寺を知っていただきたいと思っています。また仏教や日蓮宗をできる限り身近なものとしてとらえていただきたいと思っています。

「新型コロナウイルス」がまん延し始めた頃から、このまま皆様が参拝出来なくなってしまうたら、何を心のよりどころとしていけばいいのか、ご先祖様の供養をどのようにしていけばいいのかなどを考えた中で、皆様が本光寺を参拝できる方法を考え、昨年9月13日より、ライブ配信を始めました。

記：いろいろなお考えの上で始められたのですね。毎日参拝（参加）させていただいているといろいろカメラの角度が変わったり、

質問があったり、チャットで挨拶をされていらっしゃる様子です。ご住職も毎日7時からスタートされる「朝参り会」はつらくないですか？

住：確かに最初のころとは違ったカメラアングルで配信しているかもしれませんね。毎朝の「朝参り会」は、私にとってとても楽しいもので、日々考えながら皆様に少しでも私の考えをお伝えできたらと思っています。最初のころは、まだ不慣れのため、なかなか思うようにいかず、皆様にもご迷惑をかけたかと思っています。やっと最近、少しずつ形になっていますが、まだまだ、至らないことが多々あると思います。そこは、皆様にご容赦いただければありがたいです。毎朝7時からライブ配信ですが、少しかっこよい言い方をすれば、このライブ配信は、私に課せられた使命だと思っていますので、全く苦には感じていません。

記：そうですね。お経を読んでいただいたり、参加している方々の名前を読み上げたりしているので私の名前もいつ呼ばれるか、楽しみにしたりしていますが・・・さまざまなことがブラッシュアップされていると思うのも私の印象です。毎月16日は、日蓮聖人の御降誕にちなんでご説明をいただいたり、8日は鬼子母神の縁日ゆかりの話しをされたりといろいろな内容で、毎日参拝（参加）させていただいても、十分な価値があり学びや気付きになりますね。

住：私は皆様もご存じの通り日蓮宗の僧侶です。日蓮聖人がお伝えした「日蓮宗」を皆様にごできるだけ身近に感じていただければとても嬉しいです。限られた時間なので、なかなか法華経のお経を全て読むという事はできませんが、とても大切な教え「方便品第二」と「如来寿量品第十六」のお経を毎朝読んでいます。それ以外に日蓮聖人の祖訓などのご紹介もさせてもらっています。最近では、おかげさまで参拝（参加）していただく方もかなり増えてきました。皆様のお名前を読み上げるのも時間を要しています。これは嬉しい悲鳴なのでしょうか（笑）

記：そうですね（笑）その中で「五千のご先祖」という読み上げがあります。簡単にご説明をいただければありがたいです。

住：「五千のご先祖」は、菩提寺がないなどいろいろなご事情が有って、ご先祖様を供養する時に、どこで何をしたら良いか分からないという方に対して、本光寺として少しでも何かできないかと思い、始めました。「五千のご先祖」は、どなたでもお読み上げができるわけではありません。既に菩提寺がある方は、菩提寺で供養していただくのが基本です。本光寺に「法界萬霊供養」があります。「法界萬

霊供養塔」は、あらゆる靈魂を供養する慈愛深い塔ですので、「五千のご先祖」で読み上げている方々も安心していただけたと思います。

記：そうですね。私も菩提寺が遠いので、本光寺さんにお伺いした時は「法界萬霊供養塔」でお参りさせていただいています。

この時期に是非お聞きしておきたいのが「お盆」です。朝参り会でも数々のお話をいただいております。今回「ぼっくん」と「ぴかりん住職」との会話でいろいろ説明していただきましたが、ご住職から何か一言お願いいたします。

住：「お盆」は、本光寺にとっても年間で一番大切な行事の一つになります。お墓参りをされる方やご自宅で供養される方など「お盆」の迎え方はさまざまだと思いますが、私が考える一番大切なことは形ではなく気持ちという事です。「お盆」=墓参りではなく、ご先祖様の霊を迎えわずか3日後にまた旅立っていかれるのですから、心の平穩を心掛け、ご先祖様をしのび、そして、これからの日々を精進していくという気持ちを持ってほしいのです。私もまだまだ修行中の身ですので、皆様とともに日々精進してまいります。ありがとうございました。合掌

寺務員のひとり言

いつもご参詣ありがとうございます。

日本で梨が食べられるようになったのは弥生時代くらいと言われています。

江戸時代には栽培技術が発達し、現在の市川市辺りでは水がきれいだったため、梨の栽培が盛んに行われていたことが分かっています。

本光寺では、梨の旬限定（7/15～9/15）で、有りの実（梨）の授与品がございます。

ぜひ本光寺お参りの際は、本光寺周辺の梨もお召し上がりになってください。

まだまだ蒸し暑い日が続きますが、水分補給忘れずにご自愛くださいませ。

寺務所 根本・松本・佐々木

住職の独り言「35世住職 尾藤宏明」

7月3日、ある大学生の方が、本光寺に來訪されました。神社仏閣の魅力を探すサークルの代表をされている方でした。若い方が、神社仏閣の魅力を発掘したいという事で住職の私も非常に興味があるものでした。お話しをしていると、中年の私とはまた違った感性を持っているので、どんな魅力を引き出してくれるのかなとワクワクしました。

ここで、私にある疑問がわきました。「本光寺」の魅力って何だろう・・・

住職の私なりに「本光寺」の魅力を再度考えたところ、一つは、私の考えが20歳で住職になった時から一貫して変わっていないという事ではないかと思っております。「お寺と皆さんとの垣根を取り除きたい」「笑って帰れるお寺にしたい」を常に考え行動しております。キャラクターの「木魚のぼっくん」を作ったのも、小

さいお子さんがお寺に親しみを持っていただければと言う願いから作ったキャラクターです。またオンライン参拝は、少しでも多くの方々が「本光寺」に興味を持っていただければ幸いと思い、始めました。

「本光寺」にお越しになる方は、どのような魅力を「本光寺」に求めるのでしょうか？

例えば、信心の気持ちから「本光寺」に参拝される方ももいらっしやいます。「本光寺」の本堂は、日蓮聖人が残された「大曼荼羅」を具現化したものです。「大曼荼羅」にある仏神を本堂に勧請し、仏心のご加護を賜るものです。悩みや不安などがある方は、心のよりどころになっているのではないのでしょうか。

檀家さんは、当然、菩提寺としての「本光寺」に期待されていると思います。昨今のコロナの影響でなかなかお会いできないことが多いですが、是非、お墓参りなどでお越しの時は、声をかけてください。いろいろお分かりにならない仏事や作法など、お答えしながらコミュニケーションを取ることができれば、皆さんとのつながりがより深くなっていくと思います。

大学生の訪問一つで、いろいろ考えさせられた日々でしたが、まだまだ、私も修行中の身です。至らないこともあるとは思いますが、「本光寺」をもっと魅力的なお寺にするようにしてまいります。

今後共、よろしく願いいたします。

合掌

追伸：お盆の時期8月13日～8月18日までは、お寺の行事や檀家さんの訪問で留守にすることが多くなると思いますので、ご供養・ご祈祷は出来かねる場合があります。前もってご相談いただければありがたいです。

本光寺のキャラクター



びかりん住職

ぼっくんのいるお寺の住職。



木魚のぼっくん

お寺にいる木魚の化身。頭をたたいて「ぼくぼく」と鳴らしている。